

HEIWA INTERNATIONAL PATENT OFFICE
PATENTS,UTILITY MODELS,DESIGNS & TRADEMARKS

Khei WATANABE
Isao OKANO
Toshiro TAKASHIMA
Yuko TANAKA
Narumi MORISHIMA

BY FAX
TOTAL PAGES 5

SHIBASHIN KANDA BLDG. 3RD FLOOR
26, KANDA SUDA-CHO 1-CHOME
CHIYODA-KU, TOKYO 101-0041 JAPAN
TELEPHONE : (81) 3-5256-6866
FACSIMILE : (81) 3-5256-6863

FAX/COURIER

The International Bureau of WIPO
PCT Division
34, chemin des Colombettes
1211 Geneva 20,
Switzerland

June 15, 2005

CONFIRMATION

Amendment of the claims under Article 19(1) (Rule 46)

International Application No. : PCT/JP2004/019303
International Filing Date : December 24, 2004
Applicant :(Name) SEINAN INDUSTRY CORPORATION
(Address) 2-16-1, Motomiya, Morioka-shi, Iwate 020-0866 Japan
(Tel. No.) +81 19-636-0320
Agent : (Name) Kihei WATANABE
(Address) Shibashin Kanda Bldg. 3rd Floor, 26, Kanda Suda-cho
1-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0041 Japan
(Tel. No.) +81 3 5256-6866
Agent's File Reference : SNK-522-PCT

Dear Sirs :

The Applicant, who received the International Search Report relating to the above-identified International Application transmitted on December 24, 2004 hereby files amendment under Article 19(1) as in the attached sheets.

The Applicant hereby amends claims 1 and 2, and claims 3 to 12 are retained unchanged.

The Applicant also files as attached hereto a brief statement explaining the amendment and indicating any impact that amendment therein might have on the description and drawings.

Very truly yours,



Kihei WATANABE
Heiwa International
Patent Office

KW/jm

Attachment:

(1) Amendment under Article 19(1)	2 sheets
(2) Brief Statement	1 sheet

請求の範囲

- [1] (補正後) 植物繊維を相互に絡め、かつ加圧形成した植物繊維層を、透水性を有するコンクリート材の水路となる内側表面に一体に取着したことを特徴とする側溝用ブロック構造物。
- [2] (補正後) コンクリート材を形成する結合材として無機系材料及び／又は有機系材料を用い、前記無機系材料及び／又は有機系材料を前記植物繊維の空隙に侵入させて、前記植物繊維層を前記コンクリート材の内側表面に取着したことを特徴とする請求項1に記載の側溝用ブロック構造物。
- [3] コンクリート材を構成する骨材を、軽量骨材としたことを特徴とする請求項1に記載の側溝用ブロック構造物。
- [4] 植物繊維層を、椰子繊維としたことを特徴とする請求項1に記載の側溝用ブロック構造物。
- [5] 内側表面となる側壁面を階段状に形成したことを特徴とする請求項1に記載の側溝用ブロック構造物。
- [6] 内側表面となる底部面を凹凸状に形成したことを特徴とする請求項1に記載の側溝用ブロック構造物。
- [7] 両側壁を湾曲状あるいはS字状に形成したことを特徴とする請求項1に記載の側溝用ブロック構造物。
- [8] 外側壁面を外方へ湾曲状に膨出した形状としたことを特徴とする請求項1に記載の側溝用ブロック構造物。
- [9] 外側壁面を卵型あるいは球状に形成し、その上方部側の一部を水路用開口部とし、且つ内側表面の底部に突出部を立設し、水路となる内側表面に植物繊維層を一体に取着したことを特徴とする側溝用ブロック構造物。
- [10] 請求項1～8に記載の側溝用ブロック構造物の複数個を連結し、あるいは側溝用ブロック構造物を適宜組み合わせたものを複数個連結して延設したことを特徴とする水路。
- [11] 請求項10記載の水路に、請求項9に記載の側溝用ブロック構造物を組み合わせて連結延設したことを特徴とする水路。

[12] 底型枠、内型枠、外型枠及び側型枠によって枠組みした型枠において、内型枠の表面に植物繊維を取着し、該型枠によって形成された空間内にコンクリート材を打設し、上方部より押圧手段により押圧することにより該植物繊維とコンクリート材とを強固に結合してブロック構造物を形成してなることを特徴とする側溝用ブロック構造物の製造方法。

条約第19条（1）に基づく説明書

請求の範囲第1項は、植物繊維層として、植物繊維を相互に絡め、かつ加圧形成したもの用いていること、及び、この植物繊維層を、透水性を有するコンクリート材の内側表面に一体に取着したことを明確にした。

引用例には、水路に植物繊維を相互に絡め、かつ加圧形成した植物繊維層を用いること、また、植物繊維層を、透水性を有するコンクリート材の内側表面に一体に取着した構成についての記載はない。

請求の範囲第2項は、コンクリート材の結合材としての無機系材料及び／又は有機系材料を、前記植物繊維の空隙に侵入させて、前記植物繊維層を前記コンクリート材に取着したことを明確にした。

引用例には、コンクリート材に対する植物繊維層の取着けを、コンクリート材の結合材である無機系材料及び／又は有機系材料を植物繊維の空隙に侵入させて行う構成についての記載はない。

本発明は、上記構成にしてあるので、水生昆虫類、微生物及び藻類並びに魚類、その他の脊椎小動物等の生育に好適な環境を得ることができ、また、周辺土壤との水の共有化を図ることができる。